

令和7年度

鹿児島県総合防災訓練実施要領

開 催 日 令和7年5月 25 日(日)

開催場所 さつま町



鹿児島県



さつま町

訓練参加機関及び団体一覧

	機関名		機関名
1	鹿児島県	51	一般社団法人日本自動車連盟鹿児島支部
2	さつま町	52	一般社団法人ジャパンレッカー事業協力会
3	自衛隊鹿児島地方協力本部	53	宮之城共同生コン株式会社
4	陸上自衛隊第8師団	54	鹿児島県葬祭業協同組合
5	陸上自衛隊第12普通科連隊	55	一般財団法人鹿児島県消防協会
6	陸上自衛隊第8施設大隊	56	一般社団法人鹿児島県警備業協会
7	海上自衛隊佐世保地方隊	57	鹿児島県赤十字アマチュア無線奉仕団
8	海上自衛隊第1航空群	58	日本アマチュア無線連盟鹿児島県支部
9	第十管区海上保安本部	59	公益社団法人鹿児島県トラック協会
10	鹿児島海上保安部	60	日本防災士会鹿児島県支部
11	串木野海上保安部	61	一般社団法人鹿児島県LPガス協会
12	鹿児島航空基地	62	鹿児島県LPガス協会川薩支部
13	鹿児島地方気象台	63	日本赤十字社鹿児島県支部
14	九州地方整備局防災室	64	さつま町日赤奉仕団
15	九州地方整備局港湾空港部	65	隊友会
16	川内川河川事務所	66	さつま町消防団
17	鶴田ダム管理所	67	さつま町消防災害支援隊
18	鹿児島国道事務所	68	さつま町地域包括支援センター
19	大隅河川国道事務所	69	自主防災組織(虎居地区)
20	九州総合通信局	70	九州電力株式会社
21	九州管区行政評価局 鹿児島行政監視行政相談センター	71	九州電力送配電株式会社
22	鹿児島県北薩地域振興局	72	九州送配サービス株式会社
23	川薩保健所	73	NTT西日本鹿児島支店
24	鹿児島県警察本部	74	NTTフィールドテクノ鹿児島設備部
25	さつま警察署	75	NTTアノードエナジー鹿児島支店
26	九州管区警察局鹿児島県情報通信部	76	日本公衆電話会 鹿児島支部
27	鹿児島県防災航空センター	77	楽天モバイル株式会社
28	九州市長会	78	ソフトバンク株式会社
29	さつま町消防本部	79	KDDI株式会社
30	鹿児島市消防局	80	(株)ドコモCS九州
31	出水市消防本部	81	(株)ドコモビジネスソリューションズ
32	薩摩川内市消防局	82	(株)アクティオ鹿児島営業所
33	阿久根地区消防組合消防本部	83	南日本段ボール工業組合日之出紙器工業株式会社
34	鹿児島県DMAT	84	鹿児島ドローンネットワーク推進協議会(デュアルドローンハンドラース)
35	鹿児島県DPAT	85	アブラコミュニケーション(株)
36	鹿児島県看護協会	86	合同会社シスルナベース
37	公益社団法人鹿児島県栄養士会(JDA-DAT鹿児島)	87	日本ドローンレスキュー災害支援協会
38	公益財団法人鹿児島県国際交流協会	88	三井住友海上
39	公益社団法人鹿児島県医師会	89	鹿児島国際航空株式会社
40	薩摩郡医師会	90	鹿児島大学
41	公益社団法人鹿児島県歯科医師会	91	救急郷中会
42	薩摩郡歯科医師会	92	宮之城ふくし園
43	公益社団法人鹿児島県薬剤師会	93	アルテンハイム鶴宮園
44	薩摩郡薬剤師会	94	ハローさつま
45	鹿児島県社会福祉協議会		
46	さつま町社会福祉協議会		
47	北薩地区社会福祉協議会連絡協議会		
48	日本青年会議所九州地区鹿児島ブロック協議会		
49	川内青年会議所		
50	鹿児島県建設業協会宮之城支部・さつま町建友会		

I 令和7年度鹿児島県総合防災訓練実施要領

1 目的

災害対策基本法及び鹿児島県地域防災計画・さつま町地域防災計画に基づき、大雨・洪水・崖崩れ・地震等の災害発生に際し、防災関係機関が相互に緊密な連携を保ちながら情報連絡、伝達、救出、救護、避難誘導及び災害復旧等の災害応急対策が迅速、適切に行われるよう防災体制の確立を図るとともに、県民の防災意識の高揚を図る。

2 実施日時

令和7年5月25日(日)

訓練：8時00分から12時15分まで

閉会式：12時20分から12時30分まで

3 主な訓練場所

さつま町（宮之城運動公園・体育館、川内川河川敷等）

4 訓練組織

(1) 訓練統監：鹿児島県知事

(2) 訓練副統監：さつま町長

II 訓練想定

1 訓練全般想定

5月25日6時30分、さつま町において線状降水帯が発生し、川内川流域の全地区に対し、「緊急安全確保」を発令中のところ、同日9時00分、県北西部を震源とするM7.0の地震(さつま町最大震度6弱)が発生した。

これらの影響により、さつま町内の各地において、土砂崩れや家屋の倒壊、ライフラインの寸断に加えて、孤立地域や多数の負傷者が発生するなど、甚大な被害が生じている。

2 気象警報等想定

(1) 5月24日18時30分、鹿児島地方気象台は、「広い範囲で警戒レベル4相当の土砂災害警戒情報などを発表する可能性がある。また、鹿児島県(奄美地方を除く)では線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある」と発表した。

(2) 翌25日4時00分、鹿児島地方気象台は、「大雨(土砂災害・浸水害)・洪水警報」を発表した。

同警報の発表等を踏まえ、さつま町は「町災害警戒本部」を設置、町内全域に対し、「【警戒レベル3】高齢者等避難」を発令した。

(3) 5時00分、鶴田ダム管理所は、洪水調節を開始した。

(4) 5時 15 分, 川内川河川事務所は, 川内川の水位が宮之城水位観測所にて「はん濫注意水位(5.20m)」を超過し, 今後, 水位が更に上昇する見込みとして, 川内川洪水予報第1号「氾濫注意情報」を発表した。

(5) 5時 30 分, 鹿児島地方気象台は, 降り続く大雨の影響により土砂災害の危険性が高まっていることから, 「土砂災害警戒情報」を発表した。

鶴田ダム管理所は, 計画規模を超える洪水が予想され, 3時間後に緊急放流を実施する可能性があることから, 「緊急放流3時間前」を関係機関へ通知した。

同状況を踏まえ, さつま町は「町災害対策本部」を設置, 町内全域に「避難指示」を発令した。

(6) 6時 30 分, 鹿児島地方気象台は, さつま町付近で線状降水帯が発生したとの情報を発表した。

これまでの気象状況を踏まえ, さつま町は, 川内川流域の全地区に対し, 「緊急安全確保」を発令した。

さつま町の一部地域で, 内水はん濫による浸水被害が発生。

(7) 7時 30 分, 鶴田ダム管理所は, 「緊急放流1時間前」を関係機関に通知した。

川内川河川事務所は, 川内川の水位が宮之城水位観測所にて「避難判断水位(6.40m)」を超過し, 今後, 水位が更に上昇する見込みとして, 川内川洪水予報第2号「氾濫警戒情報」を発表した。

(8) 8時 30 分, 鶴田ダム管理所は, 「緊急放流開始」を関係機関へ通知, 計画規模を超える洪水のため, 緊急放流を開始した。

川内川河川事務所は, 川内川の水位が宮之城水位観測所にて「氾濫危険水位(7.60m)」を超過し, 今後, 水位が更に上昇する見込みとして, 川内川洪水予報第3号「氾濫危険情報」を発表した。

(9) 9時 00 分, 県北西部を震源とする M7.0(さつま町最大震度6弱)の地震が発生。

気象庁は, 緊急地震速報を発表し, 強い揺れへの警戒を呼びかけた。

気象警報等想定一覧表

時刻	鹿児島地方気象台	川内川河川事務所	鶴田ダム管理所	さつま町	災害事象
5/24 18:30	鹿児島地方気象台は、「広い範囲で警戒レベル4相当の土砂災害警戒情報などを発表する可能性がある。 また、鹿児島県（奄美地方を除く）では線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。」と発表。				
5/25 04:00	鹿児島地方気象台は、「大雨（土砂災害・浸水害）・洪水警報」を発表。			「町災害警戒本部」設置 町内全域に「高齢者等避難」を発令	
05:00			洪水調節を開始		
05:15		川内川の水位が宮之城水位観測所にて「はん濫注意水位（5.20m）」を超過し、今後、水位は更に上昇する見込み。 川内川洪水予報第1号「氾濫注意情報」を発表。			
05:30	土砂災害の危険性が高まっていることから、「土砂災害警戒情報」を発表。		「緊急放流3時間前」を関係機関へ通知。 計画規模を超える洪水が予想され、3時間後に緊急放流を実施する可能性。	「町災害対策本部」設置 町内全域に「避難指示」を発令	
06:30	鹿児島地方気象台は、さつま町付近で線状降水帯が発生したとの情報を発表。			川内川流域の全地区に対し、「緊急安全確保」を発令	さつま町の一部地域で、内水はん濫による浸水被害が発生。
07:30		川内川の水位が宮之城水位観測所にて「避難判断水位（6.40m）」を超過し、今後、水位は更に上昇する見込み。 川内川洪水予報第2号「氾濫警戒情報」を発表。	「緊急放流1時間前」を関係機関へ通知。 計画規模を超える洪水が予想され、1時間後に緊急放流を実施する可能性。		
08:30		川内川の水位が宮之城水位観測所にて「氾濫危険水位（7.60m）」を超過し、今後、水位は更に上昇する見込み。 川内川洪水予報第3号「氾濫危険情報」を発表。	「緊急放流開始」を関係機関へ通知。 計画規模を超える洪水のため、緊急放流を開始。		
09:00	地震発生（M7.0）				
09:00	県北西部を震源とするM7.0の地震が発生。 同時刻、気象庁は緊急地震速報を発表し、強い揺れへの警戒を呼びかけ。				さつま町 最大震度6弱
09:00					線状降水帯発生中の巨大地震により、さつま町内の各地において、土砂崩れや家屋の倒壊、ライフラインの寸断に加え、孤立地域や多数の負傷者が発生するなど、甚大な被害が発生。

Ⅲ 各種訓練(※詳細は別添実施細目参照)

【訓練①】物資輸送訓練

<主な訓練項目>

災害応急要員搬送, 救援物資輸送, ドローンによる孤立集落への物資輸送 など

【訓練②】情報伝達訓練

<主な訓練項目>

現地災害対策本部設置運営, 情報伝達訓練 など

【訓練③】住民避難訓練

<主な訓練項目>

住民避難(避難行動要支援者含む), 自衛隊等による孤立地域からの住民救助 など

【訓練④】避難所運営訓練

<主な訓練項目>

避難所の設置・運営, 災害ボランティアセンター設置・運営, 衛星通信(スターリンク)による通信手段の確保, 炊き出し, 野外風呂設置 など

【訓練⑤】防災意識啓発訓練

<主な訓練項目>

防災資機材・パネル展示, 検視・身元確認, 災害時通信手段展示 など

【訓練⑥】河川訓練

<主な訓練項目>

航空機による情報収集, 救助ボートによる救助, ヘリコプターによる吊り上げ救助 など

【訓練⑦】合同災害対応訓練

<主な訓練項目>

合同救出・救護, DMATによる地域拠点病院の災害医療支援, 道路啓開, 電気応急復旧 など

Ⅳ 中止基準

- ① 県内(振興局・支庁単位2地区で警報)に気象警報が発表され, 県として体制をとる必要がある場合
- ② 県内に震度5弱以上の地震が観測された場合
- ③ 県内に津波注意報, 津波警報, 大津波警報が発表された場合
- ④ 県内に特別警報が発表された場合
- ⑤ 県内に台風の接近等が予想される場合
- ⑥ 県内で緊急事態が発生した場合
- ⑦ さつま町に気象警報発表, 震度4以上の地震が観測された場合
- ⑧ 県外において大規模な災害又は緊急事態が発生し, 各機関応援態勢をとる必要がある場合
- ⑨ その他, 上記以外については, 県及びさつま町が協議して訓練中止を決定する



訓練種目	時間	想定又は状況	行動概要	機関名	使用資機材等
物資等輸送訓練					
受援計画に基づく救援物資輸送訓練	9:00～9:30	・25日06時30分、さつま町において線状降水帯が発生し、川内川流域の全地区に対し、「緊急安全確保」を発令中のところ、同日9時00分、県北西部を震源とするM7.0の地震（さつま町最大震度6弱）が発生した。 ・これらの影響により、さつま町内の各地において、土砂崩れや家屋の倒壊、ライフラインの寸断に加えて、孤立地域や多数の負傷者が発生するなど、甚大な被害が生じている。	・県は、さつま町に対し、県の備蓄物資（救援物資）による支援を決定。 ・さつま町は、救援物資の受入のため、直ちに物資拠点（宮之城総合体育館）を開設し、救援物資の受入準備を開始。 ・県は、県物資拠点（さつま町公設地方卸売市場）からさつま町物資拠点（宮之城総合体育館）までの救援物資の輸送について、県トラック協会に対して、災害時応援協定に基づく支援を要請し、トラックによる輸送を実施。 ・さつま町は、さつま町物資拠点（宮之城総合体育館）から避難所までの輸送を実施。	鹿児島県 さつま町 公益社団法人鹿児島県トラック協会	救援物資（箱） トラック 飲料水・食料 その他資機材等（必要に応じて）
九州市長会における災害時相互支援プランに基づく物資輸送訓練	9:00～9:30	・25日06時30分、さつま町において線状降水帯が発生し、川内川流域の全地区に対し、「緊急安全確保」を発令中のところ、同日9時00分、県北西部を震源とするM7.0の地震（さつま町最大震度6弱）が発生した。	・九州市長会は、鹿児島県さつま町に対して、プランの適用を決定。 ・（陸上自衛隊への輸送依頼・調整） ・即応支援班等の派遣を決定。 ※鹿児島市、宮崎市以外 ・九州市長会防災部会は、プッシュ型支援として陸自ヘリコプター、陸上車両及び各市の公用車で支援物資を搬入する。 ※赤字は、プランの規定に基づき県で作成した部分であり、要確認。	鹿児島県 さつま町 九州市長防災部会11市	ヘリコプター トラック 飲料水・食料 その他資機材等（必要に応じて）
救援物資輸送訓練	9:00～9:30	日本赤十字社さつま町分区分は、不足している救援物資の輸送を日本赤十字社鹿児島県支部に要請した。	日本赤十字社鹿児島県支部は、災害救援物資配分の要請を受け、避難所へ物資輸送を実施。避難所到着後はボランティアセンターを運営する鹿児島県社会福祉協議会や日赤さつま町分区分へ救援物資を引き渡す。	日本赤十字社鹿児島県支部	救援物資輸送車両 日赤救援物資（毛布、緊急セット、ブルーシート、タオルケット）
孤立地域への物資輸送訓練	12:05～12:15	【鹿児島ドローンネットワーク推進協議会】 県からの要請により、孤立地域へ薬剤を搬送 【合同会社シスルナベース】 孤立地域へのドローン（ペイロード30kg）による物資輸送訓練 指定物資輸送デモフライト	【鹿児島ドローンネットワーク推進協議会】 県薬剤師会と連携し、ドローンにより孤立地域へ薬剤を空輸する。 【合同会社シスルナベース】 指定区画への輸送を実施（ルート調整） 輸送物資の搬出入（調整）	鹿児島ドローンネットワーク推進協議会 合同会社シスルナベース 鹿児島県薬剤師会 鹿児島県 さつま町	ドローン 物資（農薬やかゆ） 模擬薬剤
訓練種目	時間	想定又は状況	行動概要	機関名	使用資機材等
情報伝達訓練					
県（現地）災害対策本部設置・運営	08:00～	（地震発生前は災害警戒本部体制） 25日09時00分、県北西部を震源とするM7.0の地震が発生したことを受けて、県は現地災害対策本部を設置する。	被害状況の把握等の情報収集を実施 関係機関（リエゾン）との連絡・調整を実施 自衛隊及び海上保安部への災害派遣要請等を実施 【鹿児島県警察本部】 県災害対策本部において、被害状況の把握等の情報収集を実施。 各種災害等による被害状況を現地災害対策本部等への映像伝送を実施。 【日本赤十字社鹿児島県支部】 県（現地）災害対策本部において、被害状況の把握等の情報収集を実施。	鹿児島県 北薩地域振興局 海上自衛隊第1航空群 第十管区海上保安本部 鹿児島地方気象台 鹿児島県警察本部 九州管区警察局鹿児島県情報通信部 鹿児島県薬剤師会 鹿児島県防災航空センター 鹿児島県DMAT 九州電力送配電株式会社 日本赤十字社鹿児島県支部 ソフトバンク株式会社	
さつま町災害対策本部設置・運営	5:00（実働前）～12:05	大雨・洪水警報発令中、25日5:30に土砂災害警戒情報が発令され、また、同時刻に鶴田ダム管理所から3時間後に鶴田ダム緊急放流を開始する旨の通知がなされたことから、災害対策本部を設置。	被害状況等の情報収集を行う。 関係機関（リエゾン）との連絡調整。 自衛隊及び海上保安庁への災害派遣要請等を行う。 消防本部（消防対策部）は、県消防相互応援協定に基づき県内消防本部へ第2要請を行う。 また、災害対策本部に、他機関との活動調整を行うため現地合同調整所を設置し、関係機関と被害状況を共有するとともに、救助活動の調整等を実施する。 【さつま警察署】 さつま町災害対策本部において、被害状況の把握等の情報収集を実施。 各種災害等による被害状況を現地災害対策本部等への映像伝送を実施。	さつま町 さつま町消防本部 鹿児島市消防局 川内川河川事務所 北薩地域振興局 さつま警察署 九州管区警察局鹿児島県情報通信部 DMAT 薩摩県薬剤師会 第12普通科連隊	PC（LOWN）
保健福祉環境対策班設置に係る川薩保健所初動訓練（災害発生時災害対応初動訓練） （想定：川薩保健所）	08:00～	大規模災害発生時には、川薩保健所は保健福祉環境対策班として活動することとなる。地震や大雨による医療施設等の被災状況確認や在宅の要支援者の安否確認等のほか、県現地災害対策本部等との情報共有が必要となる。	○災害発生時の限られた参集職員（保健師）による災害対応業務に係る初動を実施する。 ・保健所施設の安全確認、通信機器等の使用確認。 保健福祉環境対策班の設置、現地災害対策本部との連絡調整等 ・管内医療機関などの被災状況の確認及びEMIS代行入力 ・保健所が把握している要支援者の状況確認 など	川薩保健所	
気象情報伝達訓練	適時		鹿児島地方気象台は、各種気象情報を発表。	鹿児島地方気象台 鹿児島県 ほか	
河川情報伝達訓練	適時	【川内川河川事務所】 05時15分、川内川河川事務所は、川内川の水位が宮之城水位観測所にて「はん濫注意水位（5.20m）」を超過し、今後、水位が更に上昇する見込み。 ・川内川洪水予報第1号「氾濫警戒情報」を発表。 ・水防警報第2号「出動」発令。 07時30分、川内川河川事務所は、川内川の水位が宮之城水位観測所にて「避難判断水位（6.40m）」を超過し、今後、水位が更に上昇する見込み。 ・川内川洪水予報第2号「氾濫警戒情報」を発表。 ・水防警報第3号「警戒」発令。 8時30分、川内川河川事務所は、川内川の水位が宮之城水位観測所にて「氾濫危険水位（7.60m）」を超過し、今後、水位が更に上昇する見込み。 ・川内川洪水予報第3号「氾濫危険情報」を発表。 【鶴田ダム管理所】 05時00分、鶴田ダム管理所は洪水調節を開始。 05時30分、鶴田ダム管理所は、「緊急放流3時間前」を関係機関へ通知。3時間後に緊急放流を実施する可能性。 07時30分、鶴田ダム管理所は、「緊急放流1時間前」を関係機関へ通知。1時間後に緊急放流を実施する可能性。 08時30分、鶴田ダム管理所は、「緊急放流開始」を関係機関へ通知。緊急放流を開始。	【川内川河川事務所】 川内川河川事務所からメールにより、洪水予報及び水防警報を発信。 情報を受けた防災関係機関は、各種通信手段を用いて、迅速に住民等へ伝達。 【鶴田ダム管理所】 鶴田ダム管理所からメールにより、洪水予報及び水防警報を発信。 情報を受けた防災関係機関は、各種通信手段を用いて、迅速に住民等へ伝達。	川内川河川事務所 鶴田ダム管理所 鹿児島県 ほか	

ホットラインによる情報伝達訓練	8:30	07 時30 分、川内川河川事務所は、川内川の水位が宮之城水位観測所にて「避難判断水位（6.40m）」を超過し、今後、水位が更に上昇する見込み。 ・ホットラインを実施。	川内川河川事務所から電話により、市町へ水位の現況、今後の水位の見通し、とるべき行動などを連絡。	川内川河川事務所 鶴田ダム管理所 さつま町	
臨時災害放送局の設置・運営	09:00～	8 時30 分、川内川河川事務所は、川内川の水位が宮之城水位観測所にて「氾濫危険水位（7.60m）」を超過し、今後、水位が更に上昇する見込み。 ・ホットラインを実施。		九州総合通信局 さつま町	臨時災害放送局の機材
フライトサービス設置・運営訓練	8:00～	被災地で複数の航空機が飛行するため、航空運航の調整を実施する。	被災地に多数の航空機が飛行することから、宮之城総合運動公園内にフライトサービスを設置し、飛行進行状況の航空機の運航調整を実施。	鹿児島県防災航空隊 鹿児島国際航空株式会社	可搬型無線機 「フライトサービス81」 風向指示器
訓練種目	時間	想定又は状況	行動概要	機関名	使用資機材等
住民避難訓練					
避難指示の発令	8:00	さつま町は、町内全域に避難指示を発令。（5:30を想定）	防災行政無線、安全安心メール（多言語）及び町公式LINEにて情報を発信する。	さつま町	
住民避難	8:00～	避難指示の発令により、地域住民は避難所への避難を開始。（5:30避難開始を想定）	さつま町消防団災害支援隊は、地域住民の避難誘導等を行う。	さつま町 さつま警察署 さつま町消防団災害支援隊	
交通規制	8:00～		さつま警察署及び交通機動隊は、さつま町、警備業協会と連携し、地域住民に対し避難指示を伝達するとともに、さつま町消防団災害支援隊と連携し、避難者の安全確保のための避難誘導を実施する。	鹿児島県警察本部 さつま警察署 一般社団法人鹿児島県警備業協会 さつま町	バトカー 白バイ 停止棒 トラメガ 誘導棒 世帯 誘導灯 無線機 等
住民避難（宮之城ふくし園） 福祉避難所運営訓練	9:00～	震度6弱の地震により、施設に大規模な損壊が発生。 宮之城ふくし園は、入所者を関連施設への避難を実施。また、一部の入所者について、家族へ引き渡す。 宮之城ふくし園は、町に対し、宮之城総合体育館にて入所者を家族へ引き渡したい旨を依頼。さつま町は、臨時的に宮之城総合体育館を福祉避難所として開設し、入所者を受け入れを行う。	宮之城ふくし園入所者は、職員の誘導により避難を開始。 途中、国道の横断等のため、鹿児島県警備業協会の誘導により避難を行う。	さつま町 宮之城ふくし園 一般社団法人鹿児島県警備業協会	
医療的ケア者受入れ訓練（宮之城ふくし園）	10:30～	震度6弱の地震により、医療的ケア者の自宅が被災。家族からさつま町に対し避難の相談があり、さつま町は、宮之城ふくし園へ受入れを要請する。	宮之城ふくし園は、要請を受入れ準備を開始。 医療的ケア機種の確認を行い、受入れを行う。	さつま町 宮之城ふくし園	
住民避難（アルテンハイム鶴宮園） 福祉避難所運営訓練	9:00～	震度6弱の地震により、周辺地域で建物被害が多数発生。さつま町は、アルテンハイム鶴宮園に対し、福祉避難所の開設を要請。	アルテンハイム鶴宮園は、要請を受け、福祉避難所を開設し避難行動要支援者の受入れを行う。 さつま町消防団は、避難行動要支援者の誘導等を行う。	さつま町 アルテンハイム鶴宮園 さつま町地域包括支援センター さつま町消防団	
孤立地区（永野地区）からの住民避難訓練 （陸路及び空路）	9:00～	震度6弱の地震により、孤立地区内で多数の土砂崩れが発生し孤立集落が多数発生している。 さつま町は陸上自衛隊に対し、陸路及び空路での住民避難を要請した。	アブラココミュニケーションは、ドローンにより、集落の孤立状況の調査を実施する。 陸上自衛隊は、町消防団（永野分団）と陸路での避難誘導を行い、避難所（薩摩農村環境改善センター）へ車両にて住民の輸送を行う。また、陸路での避難困難な地域の住民をヘリコプターにて避難所（薩摩農村環境改善センター）近くの場外陸路送場まで輸送する。	さつま町 （株）ドコモCS九州 アブラココミュニケーション株式会社 陸上自衛隊第12普通科連隊 さつま町消防団 地域住民	
訓練種目	時間	想定又は状況	行動概要	機関名	使用資機材等
避難所運営訓練					
避難所の設置・運営	8:00～	25日5:00の高齢者等避難発令に伴い、町内6ヶ所の避難所開設中、同日5:30に避難指示を発令し計20ヶ所の避難所を開設。さらに、鶴田ダム緊急放流開始2時間前のため同日6:30に緊急安全確保を発令することを災害対策本部にて決定し、住民等へ周知する。（避難所開設箇所は訓練による実働箇所のみとする）	さつま町は、避難者の増加が予想されるため、宮之城総合体育館を避難所として開設し、避難者の受入れを行う。 なお、多くの避難者に迅速な対応を行うため、LINEにより受付を行う。 また、長期避難も予想されることから、避難者生活環境に配慮した対応を早期に実施する。（トイレカー、段ボールベッド、パーティションの設置） 九州市長会防災部会は、プッシュ型支援として陸上自衛隊ヘリコプター、陸上車両及び各市の公用車で参集し、支援職員を投入、避難所の設置、運営を実施する。 ※設置に必要な資機材は、さつま町の保有物を使用する想定であるが、他機関が持ち込む資機材を協力して設置することも可能。	さつま町 南日本段ボール工業組合日之出紙器工業株式会社 （株）アクティオ鹿児島営業所 九州市長訪災部会11市 地域住民	
福祉施設入所者の一時避難	9:00～	福祉施設入所者の受入れに伴い、体育館内一室を福祉避難所として開設する。	避難所対応職員・施設職員が連携し、避難者の対応を行う。 災害支援ナースは、避難者の受入れ支援及び健康状態の確認等を行う。	さつま町 宮之城ふくし園 鹿児島県看護協会（災害支援ナース）	
外国人の避難受入	9:00～	河川の急激な増水に加え、震度6弱の地震も発生したことから、外国人住民も避難してきた。 さつま町在住外国人が避難所へ避難してきており、基本的な情報伝達のため、言語や文化のギャップを埋めてコミュニケーションを確保する必要がある。	受付窓口における在住外国人への対応に関する助言 在住外国人へ避難所でのルール等説明の支援 多言語シートの掲示に関する助言 災害支援ナースは、避難者の受入れ支援及び健康状態の確認等を行う。	さつま町 鹿児島県くらし共生協働課 公益財団法人鹿児島県国際交流協会 鹿児島県看護協会（災害支援ナース）	多言語シート イス、長机 ホワイトボード wifi接続
スターリンクを活用した通信手段の確保	8:30～	地震の影響により、避難所周辺における通信回線が遮断された。県職員のリエゾンにより避難所にスターリンクを設置し、通信回線の復旧を図る。	スターリンク機器の設置、稼働	北薩地域振興局 （株）ドコモビジネスソリューションズ	スターリンクアンテナ Wi-Fiルーター ※下記備用願ひ 長机1卓、椅子2脚 ロービー付近

訓練種目	時間	想定又は状況	行動概要	機関名	使用資機材等
健康相談・食事（栄養）相談	9:00～	避難所生活が長期化してきていることに伴い、健康相談ブースを開設。避難者の健康管理を行い、体調不良者等早期に健康問題への介入が必要な支援者への支援を行う。 避難所運営訓練で想定されるフェーズに応じた栄養・食事相談避難所状況の把握、支援体制の構築 避難生活の長期化（フェーズ2：発災後5日目想定）に伴い、日本赤十字社鹿児島県支部に救護員の派遣要請を行い、避難所での巡回診療を実施する。	○巡回健康チェック・巡回診療 日本赤十字社鹿児島県支部及び災害支援ナースは、避難所での生活が長期化（フェーズ2）してきていることに伴い、避難者の心身の健康状態を把握し、体調不良者や感染症が疑われる避難者等に対し、保健所等の関係機関と連携し、救護班（医師、看護師、主事）で巡回診療を行う。 車中泊の避難者の健康状態の把握を行い、同様の対応を行う。 ○健康相談 発災から数日経過しているため町保健師は、災害支援ナース（県看護協会）等に指示し、問診・血圧測定等を行い、状況により薩摩郡医師会（医療救護所）等での受診を勧める。 ○健康教育 災害支援ナースは、避難者に対し、手指消毒やエコノミー症候群予防、建物処理等の方法について、実技指導を行う。 ①行政栄養士（川唐保健所・さつま町）と連携し、栄養ニーズの把握と要配慮者の把握、栄養・食事相談を行う。 ②災害医療関係団体と連携し、栄養・食事相談支援を行う。 ③避難所状況をもとに、県栄養士会・県健康増進課・日本栄養士会で支援体制を構築する。 ④特殊栄養ステーション・サテライトを設置し、要配慮者支援体制を整える	さつま町 公益社団法人鹿児島県栄養士会（JDA-DAT鹿児島） 鹿児島県看護協会（災害支援ナース） 日本赤十字社鹿児島県支部	場所の確保 長机3台×椅子4脚
災害ボランティアセンターの設置・運営	8:30～11:00	大雨や地震等に伴う家屋の倒壊、土砂の流入や洪水、又道路の寸断等により、一部の集落については孤立した可能性がある。このような中、家屋等への土砂流入や浸水被害等のあった住民から復旧支援の相談が寄せられ始めた。 また、宮之城総合体育館内に開設された避難所内において、高齢者や障害のある方等の要配慮者に向けた支援の相談も寄せられ始めている。	さつま町社会福祉協議会は、さつま町災害対策本部と協議し災害ボランティアセンターの設置を決め、土砂流入や浸水被害等のあった地域の現状把握を行うとともに復旧支援の相談の寄せられた世帯、避難所内の要配慮者等に対する具体的なニーズ調査・受付等を開始した。 また、被災者からの多くの支援ニーズに対応するため、広くボランティアを募ることを決め、募集を開始した。 鹿児島県社会福祉協議会は、救護対策本部を設置し、さつま町災害ボランティアセンターの設置・運営を支援するための職員を派遣した。 また、多くのボランティアが被災地に集まることが見込まれることから、近隣市町社会福祉協議会や関係団体等に対し、応援職員の派遣等を要請した。	鹿児島県社会福祉協議会 さつま町社会福祉協議会 北薩地区社会福祉協議会連絡協議会 日本青年会議所九州地区鹿児島ブロック協議会 川内青年会議所 ボランティア団体	長机10台 椅子30脚 バナル5枚 【以下持込機材】 ブルーシート2枚 疑似体験セット2体 スクリーン1台 プロジェクター1台 ノートパソコン2台 防災7活動用資機材（A型7・土嚢袋等）一式
災害用伝言ダイヤル171を使用した安否確認訓練	09:00～	複合災害により、通信網および電力網の供給が途絶えてしまった状況。 避難された住民の安否確認の為、早期通信確保が求められる。	NTT西日本は、宮之城総合体育館に特設公衆電話回線が事前設置されているため電話機を接続することで通信を確保する。また、安否確認を行う災害用伝言ダイヤル「171」の操作手順について浸透を図る。	NTT西日本鹿児島支店 NTTフィールドテクノ鹿児島設備部	電話機 171デモ機
移動交番の設置・運営	09:00～	避難所における治安維持及び避難者からの相談等に対応するため、避難所に移動交番を設置。	警察本部地域課移動交番係及びさつま警察署は、避難所である宮之城総合体育館に移動交番を設置し、同所における防犯警戒活動を実施するとともに、避難住民からの相談や要望等を受理する。	鹿児島県警察本部 さつま警察署	移動交番車 長机、椅子等
避難所周辺の警戒パトロール	08:00～		県警備業協会は、警察（移動交番）と連携しながら、避難所及び周辺地域の防犯やトラブル防止のため、警戒パトロールを実施する。	一般社団法人鹿児島県警備業協会	トラメガ 誘導灯 無線機・警笛 等
炊き出し（災害食・栄養支援）	08:30～	陸上自衛隊は、県知事からの派遣要請を受け、日赤奉仕団と連携し、避難所に避難した被災者に対する給食支援を実施する。 ・食事支援が必要な要配慮者への対応 ・乳幼児や病弱者、外国人等の要配慮者向け災害食の提供 さつま町赤十字奉仕団は避難所に避難した被災者に対する給食支援を実施する。	陸上自衛隊は、野外炊事をさつま町宮之城総合体育館裏側に開設し、日赤奉仕団と協力し、約400人分の食事を調理、避難者等に対し、食事を提供する。 ①訓練提供食の材料名の多言語表示、アレルギー表示、ハラル食対応表示を行う。 ②訓練提供食（自衛隊カレー）を基本に、アレルギー食、ハラル食等をバッククッキング法での調理展開を実施する。 ③災害食の表示、パンフレットを配付し、ローリングストック法による災害備蓄を啓発する。 さつま町赤十字奉仕団は、陸上自衛隊と協力し、調理や盛付、配膳を実施し、避難者等に対し、食事の提供を行う。	陸上自衛隊第12普通科連隊 公益社団法人鹿児島県栄養士会（JDA-DAT鹿児島） 公益社団法人鹿児島県国際交流協会 さつま町日赤奉仕団 一般社団法人鹿児島県LPガス協会 鹿児島県LPガス協会川薩支部	テント1張 （県プロバガス協会に隣接） ・机6台 ・ポット用電源
給水活動訓練	08:30～	震度6弱の地震により各地で水道管が損傷し、各地の避難所で断水している。 町は、町内の水道業者に水道管応急復旧を依頼。	町は、給水タンクを避難所に配置し、給水活動を開始。 また、自衛隊による炊出しへも水の提供を行う。	さつま町	
緊急入浴支援セット展開・設置訓練	09:00～	海上自衛隊は県知事からの派遣要請を受け、陸上自衛隊と連携し避難所に避難した被災者に対する入浴支援を実施する。	海上自衛隊は、陸上自衛隊からの給水支援及び設置支援を受け、入浴支援セットを避難所近傍に展開・設置する。入浴いただくことにより避難者に衛生的な環境づくりと心の癒しの場を提供する。	海上自衛隊佐世保地方隊 陸上自衛隊第12普通科連隊	大型車 フォークリフト 入浴支援セット 給水車
避難所の設置・運営 （薩摩農村環境改善センター）	08:00～	25日5:00の高齢者等避難発令に伴い、町内6ヶ所の避難所開設を指示。 （5:00から行動開始を想定） また、8:50に発生した震度6弱の地震により避難者の増加等が予想され、また、長期化する可能性もある。	さつま町は、薩摩農村環境改善センターを避難所として開設し、避難者の受入れを行う。 なお、多くの避難者に迅速な対応を行うため、LINEにより受付を行う。 また、長期避難も予想されることから、避難者生活環境に配慮した対応を早期に実施する。	さつま町 地域住民	
住民ボランティアによる炊き出し訓練 ※薩摩農村環境改善センター	09:00～	避難所に避難した被災者に対し、町内の団体等が自主的に給食支援を実施する	町内の団体等が、約100人分の食事を調理。避難者等に対し、食事を提供する。	ハローさつま	
ペット避難	09:00～	被災者とともに避難してきたペットの受入れを行う。	ペットの避難専用スペースを設け、避難者の動線と分ける。	さつま町	

訓練種目	時間	想定又は状況	行動概要	機関名	使用資機材等
防災意識啓発訓練					
検視・身元確認	09:00～	大雨や地震に伴う多数遺体の検視（死体調査）、身元確認及び遺族対応を実施。	捜査第一課、鑑識課及びさつま警察署は、医師会及び歯科医師会等と連携し、発見された遺体の検視や身元確認を実施するとともに、自治体及び関係者組合と連携して、遺族への適切な遺体引渡しを実施する。 身元確認作業では、歯科医師による口腔内の確認を行いデンタルチャートの記入及び歯牙鑑定を実施する。	鹿児島県警察本部 さつま警察署 第十管区海上保安本部 鹿児島海上保安部 公益社団法人鹿児島県歯科医師会 薩摩郡歯科医師会 鹿児島県警察業務同組合	検視・身元確認用資機材 バーテーション ホワイトボード 長机、椅子等
避難所運営訓練（避難所運営ゲーム：HUG）	09:00～10:30	大雨、地震などで住居の倒壊やライフラインの途絶が生じ、自宅生活が困難となった被災者が、指定避難所となっている施設に避難してきているため、避難所の運営をすることになった。	地域住民（主に子供達を対象）及び訓練見学者等に、HUGを通して避難所運営の訓練を実施する。	救急郷中会 さつまふるさと体験塾	HUGセット 机 椅子 ホワイトボード
救急・応急処置	09:00～12:00	地域住民及び訓練見学者等に、心肺蘇生法、AEDの使用の実践体験を行う。	訓練人形を使用しての心肺蘇生法及びAEDの取扱い訓練を実施する。 普通救命講習の内容に準じた救命処置に関する講習を実施する。	さつま町消防団本部女性部	OPR訓練人形 AEDトレーニング ディスコガゼ マット
自衛隊災害派遣写真パネル及び装備品展示	09:00～12:00	住民に対して災害派遣に関する自衛隊の活動状況のパネルを展示するとともに、自衛隊が保有し得る車両装備品を展示して防災意識の高揚を図る。	過去の災害派遣の活動状況のパネル展示 自衛隊の装備品展示 モニターを通じた動画による防災意識啓発活動	自衛隊鹿児島地方協力本部	自衛隊車両4台 初動対応器材 発電機 モニター
気象台パネル展示及び啓発活動	09:00～12:00		気象・地象に関するパネルを展示し、開設等を行う。	鹿児島地方気象台	
海上保安庁災害応急活動パネル等展示	09:00～12:00	災害発生時における海上保安庁の活動を周知する。	災害時における海上保安庁の活動等について、パネル展示等を実施する。	第十管区海上保安本部 串本野上保安部	展示パネル等
日本防災士会鹿児島県支部パネル展示及び啓発活動	09:00～12:00		啓発写真及び防災士会活動のパネル展示やチラシ配布を行うとともに、身近な物を使用した防災グッズの作成指導、簡単なロープの結び方、簡易タンカの作り方の指導を通して、参加者の防災力を高める。	日本防災士会鹿児島県支部	パネル掲示板・ 机・椅子・防災グッズ作成用道具一式 ロープ等
栄養評価に必要な血液検査機器搭載車両展示	09:00～12:00		長期避難者の栄養評価に必要な血液検査機器搭載車両の展示を行う	公益社団法人鹿児島県栄養士会（JDA-DAT 鹿児島）	場所の確保
パネル展示及び啓発活動	09:00～12:00	災害時の特別行政相談活動を紹介するパネルや被災者向け生活支援ガイドブックを展示し、特別行政相談活動についての認識を深めよう。また、平時の行政相談や行政相談委員制度についても併せて周知を図る。	災害時の特別行政相談活動についてのパネルや被災者向け生活支援ガイドブックの展示、特別行政相談活動の紹介資料の配布を行う。 行政相談制度、行政相談委員制度の紹介用DVDの上映、広報用物品の配布等を行う。	九州管区行政評価局 鹿児島行政監視行政相談センター	・展示パネル ・被災者向け生活支援ガイドブック ・行政相談パンフレット
防災パネル・資機材展示	09:00～12:00	九電グループが取り扱う防災関連のグッズやパネルを展示し、災害発生時の対応等について知識や理解を深めていただく。	パネルの展示（保存食、自己処理型水洗トイレ、EVバス） 現物展示（保存食、非常用充電器）	九州電力株式会社	・展示パネル ・保存食（現物） ※テント、机、いすの準備をお願いします
防災パネル・資機材展示	09:00～12:00	災害時の活動状況や資機材等の展示を行う。	災害時の活動状況を記載したパネルや防災電柱のデモ機を展示。 九州エリアの停電情報や復旧見込み情報などをいち早く確認できる「停電情報提供アプリ」のPRを実施。	九州電力送配電株式会社	
救援物資及び災害時の活動状況パネル展示	09:00～12:00	日本赤十字社鹿児島県支部は、災害救援物資等の展示や防災教育事業の取り組みを紹介する。	日本赤十字社鹿児島県支部は、災害救援物資等の展示や防災教育事業の取り組みを紹介する。	日本赤十字社鹿児島県支部	日本赤十字社 緊急セット、ブルーシート、タオルケット）、展示パネル
防災展示・啓発活動	09:00～12:00	防災活動の啓蒙（パネル展示）	災害時に活動する災害対策機器及び船舶の紹介やTEC-FORGE活動等を用いて防災意識啓発を実施する	九州地方整備局 防災室 九州地方整備局 川内川河川事務所	パネル VRゴーグル 等
鹿児島大学ポスター発表及び啓発活動	09:00～12:00	鹿児島大学高度共通教育科目「地域防災演習」受講生等4名が、さつま町での避難所収容可能人数（定員）および水害時想定避難者数を精査し、かつ避難行動アンケート調査を実施予定	さつま町での①避難所収容可能人数（定員）、②水害時想定避難者数、③避難行動アンケート調査結果等を、ポスター発表予定	鹿児島大学	テント1、長机2、椅子4、パネル4
ドローン展示・啓発活動	09:00～12:00	日本ドローンレスキュー災害支援協会は、自衛隊08や防災士等で構成される日頃の取り組みや活動を紹介します。	日本ドローンレスキュー災害支援協会は、自衛隊08や防災士等で構成される日頃の取り組みや活動を紹介します。	日本ドローンレスキュー災害支援協会	・テント1張、長机2、椅子6脚のご準備をお願いします。
非常通信訓練	09:00～12:00		日本アマチュア無線連盟鹿児島県支部は、鹿児島県赤十字アマチュア無線奉仕団と連携をとり、災害情報収集通信訓練を実施する。	鹿児島県赤十字アマチュア無線奉仕団 日本アマチュア無線連盟鹿児島県支部	
災害時通信手段展示	09:00～12:00	移動基地局車の設置・展示 災害への取り組みを示したパネル展示 避難所開設時の支援資機材等の紹介	移動基地局車の設置、展示 衛星携帯電話の展示 災害Wi-Fiの展示、利用 マルチチャージャーの展示、利用 Starlinkの展示、利用	(株)ドコモCS九州 (株)ドコモビジネスソリューションズ Starlink	移動基地局車×1 サポート車×1 展示パネル 衛星携帯電話 災害Wi-Fi マルチチャージャー Starlink ※下記借用願い テント1張、長机2卓 椅子4脚
災害時通信手段展示	09:00～12:00	災害時に出勤する移動基地局車と避難所開設時の支援資機材等の紹介	移動基地局車の設置、展示 衛星携帯電話の展示、操作体験 災害Wi-Fiの展示、利用 災害携帯充電BOXの展示、利用 Starlinkの展示、利用	KDDI株式会社	移動基地局車×1 サポート車×1 衛星携帯電話×2 災害Wi-Fi×1 災害携帯充電BOX×1 Starlink×1
災害時通信手段展示	09:00～12:00	災害時に出勤する当社車両と災害時に役立つソフトバンクのサービスをご紹介	(1) 移動無線車の展示 災害時、避難所などで活動する移動無線車を実際の稼働状態にした形で展示 (2) 災害時取り組み内容のパネル展示 災害が発生した際の情報通知やお客さまのコミュニケーション手段を確保する、災害用伝言板や避難所支援キットなどの展示 説明・質問等は待機中のスタッフにて、逐次ご回答します。	ソフトバンク株式会社	・テント1張、デスク2卓、椅子6脚のご準備をお願いします。 スタッフ荷物運搬用車(乗用車)1台の駐車場確保をお願いします。

災害時通信手段展示	09:00～12:00	被災後通信途絶した被災地の早期復旧の為「車載基地局車両」を設置 避難所へ設置するマルチチャージャーやWi-Fi、スマホ等の各種展示や説明	被災地での通信途絶を想定した復旧作業訓練 ※車載基地局車両駐車スペースについては6m×6m程度必要となります。 災害対応時の支援機材の展示及び説明	楽天モバイル株式会社	①車載基地局車両 ②展示物 ・ノベルティー ・のぼり ・説明パネル ・テーブルクロス ・マルチチャージャー ・Wi-Fi ・スマホ ・スマホスタンド 【借用希望品】 ・テント1張 ・テーブル（180cm程度）2本 ・椅子5脚 ・電源ドラムコード1巻 ・電源（発電機・燃料込み）1機
災害時通信手段展示	09:00～12:00	通信孤立及び停電の状況で早期の通信確保が求められる。	小型ポータブル衛星装置による通信確保。 移動電源車による災害対策機器への電源供給 最新の災害対策機器の展示、紹介	N T T西日本鹿児島支店 N T Tフィールドテクノ鹿児島設備部 N T Tアノードエナジー鹿児島支店	・小型ポータブル衛星 ・移動電源車 ・最新の災害対策機器
災害時通信手段展示	09:00～12:00	災害時に貸し出しを行うスターリンク等の無線機器の展示を行う。	スターリンク、衛星携帯電話、デジタル簡易無線等の展示及び説明等を行う。	九州総合通信局	テント1張、テーブル、椅子2脚、電源等のご準備をお願いいたします。
防災展示・啓発活動	09:00～12:00		防災に関する展示、啓発活動を実施する	三井住友海上	
地域医療介護情報ネットワーク（かごネット）登録普及	09:00～12:00	かごネット登録ブースを設け、登録を促す	住民が「かごネット」に登録することで、かかりつけ医以外のさつま町、及び薩摩川内市内の加入する医療機関等での適切で安全な医療に繋げる。	薩摩郡医師会 さつま町	
救援物資展示	09:00～12:00		救援物資の展示を実施する。	一般財団法人鹿児島県消防協会	
降雨体験機展示	09:00～12:00	降雨体験による防災意識啓発	降雨体験機により、降雨を体験する。	九州地方整備局 大隅河川国道事務所	
訓練種目	時間	想定又は状況	行動概要	機関名	使用資機材等
河川災害対応訓練					
航空機による被害状況調査	08:00～08:05	さつま町において、地震及び大雨による被害が発生。	県警ヘリは、さつま町上空の被害状況調査を実施する。 県警ヘリは、市街地の被害状況調査を実施し、現地災害対策本部等へ映像伝送する。	鹿児島県警察本部	県警ヘリ
ドローンによる被害状況調査	08:05～08:10	鹿児島県現地対策本部からの要請を受け、第十管区海上保安本部が、ドローンを使用し、川内川流域において、内水氾濫等の被害状況調査を実施する。	第十管区海上保安本部は、川内川河川敷において、ドローンを使用した被害状況調査を実施中のところ、河川敷において3名の孤立者を確認した。 同情報を、現地対策本部を通じ、鹿児島県防災航空隊へ情報提供する。	第十管区海上保安本部	ドローン 1機
航空機による孤立者救助	08:10～08:25	線状降水帯の発生により、川内川の水位が急激に上昇。 堤防に住民1名が取り残されているが、越水のおそれがあるため、陸上、水からの救出は困難である。 ドローンによる被害状況調査にて確認。	堤防に取り残されている要救助者1名をホイスト装置及び救助資機材を用いて、吊り上げ救助を実施。救出完了後は、埠外離着陸場に着陸し、地上救急隊へ要救助者を引き継ぐ。	鹿児島県防災航空センター さつま町消防本部	県消防防災ヘリコプター「さつま」
救助ボートによる孤立者救出訓練	08:25～08:35	集中豪雨による内水氾濫により、市街地が浸水し、住民複数名が逃げ遅れている。	遼河ポートにより、左岸にいたる要救助者の救出活動を行う。	陸上自衛隊第8施設大隊	渡漕ボート
内水排水訓練	08:35～08:40	さつま町虎厩にて内水氾濫発生。	常時設置（出水隅）している排水ポンプにて排水活動を行う。	さつま町	
内水排水訓練	08:40～08:45	さつま町虎厩にて内水氾濫発生。	排水ポンプ車による内水氾濫の排水作業。	川内川河川事務所	排水ポンプ車
河川被災調査	08:40～08:45	05時15分、川内川河川事務所は、川内川の水位が宮之城水位観測所にて「はん釜注意水位（S.20m）」を超過し、今後、水位が更に上昇する見込み。	河川バトロールカーを用いた目視による堤防、洪水流等の状況の把握。	川内川河川事務所	河川バトロールカー
ドローンを活用した光ファイバーケーブルの復旧訓練	08:45～08:55	洪水による宮之城橋流出により通信ケーブルが切断されたため、宮之城地区で大規模な通信孤立が発生している。	流出した宮之城橋の下流側でドローンを使って河川越しに通信ケーブルを渡し、通信を確保する。	N T T西日本鹿児島支店	通線用ドローン 映像配信システム
訓練種目	時間	想定又は状況	行動概要	機関名	使用資機材等
合同災害対応訓練					
住民による初期消火訓練	09:00～09:05	地震等により複数の住宅から火災が発生し、延焼拡大の危険性あり。 コンクリートミキサー車から消火用水の提供を受けて、地域住民によるバケツリレー等による初期消火活動により延焼防止を図る。	コンクリートミキサー車からの消火用水を使用し、地域住民によるバケツリレーや消火器を活用した初期消火活動を実施する。	さつま町消防本部 自主防災組織（虎厩地区） 宮之城共生コン株式会社	コンクリートミキサー車 バケツ 水消火器 操法用水槽 仮想建物等
大規模火災消火訓練	09:05～09:10	住民による初期消火活動により、一部建物の火災は消火されるも、出火建物が複数あることから延焼拡大する。 さつま町消防本部及びさつま町消防団による消火活動を開始する。	さつま町消防本部、さつま町消防団4分団ポンプ車計5台は、河川水を取水し、河川に向け放水活動を行う。	さつま町消防本部 さつま町消防団	消防本部ポンプ車1台 消防団ポンプ車4台
医療救護所設置・運営訓練 （想定：薩摩郡医師会病院）	08:00～	震度6弱の地震により多数の傷病者が発生していることが予想されるため、町災害対策本部は、薩摩郡医師会等に対し医療救護所の設置を要請する。	薩摩郡医師会は、宮之城総合体育館内に医療救護所を設置。町内の医療資源を集約し、負傷者等の対応にあたる。 医療体制の強化のために県から派遣された災害支援ナースも医療に加わる。	さつま町 薩摩郡医師会 薩摩郡薬剤師会 公益社団法人鹿児島県医師会 公益社団法人鹿児島県薬剤師会 鹿児島県看護協会（災害支援ナース）	
DMATによる病院支援訓練	08:30～11:30	地震・大雨によりさつま町内で多数の傷病者が発生。 地域の医療機関である薩摩郡医師会病院へ、100人以上の患者の受診とともに救急患者の搬送も多数行われる状況となった	仮想病院を設定し、薩摩郡医師会ならびにDMATによる受援訓練を行うとともにDMATによる病院支援を行う 医療体制の強化のために県から派遣された災害支援ナースも医療に加わる。 地元災害対策本部へ参画し、搬送調整等を行う	鹿児島県DMAT 鹿児島県保健福祉課 薩摩郡医師会 さつま町消防本部 鹿児島県看護協会（災害支援ナース）	テント 簡易ベッド ホワイトボード ボード用のベン 長テーブル ハイチェア トリアージタグ

訓練種目	時間	想定又は状況	行動概要	機関名	使用資機材等
DPAT活動拠点設置・運営	09:00～	【DPAT活動拠点本部】 被災地域にて県DPAT活動拠点本部を立ち上げ、支援の準備を行う。 【病院支援】 被害が大きい地域の精神科病院が被災し、医療提供を継続できない状況を想定し、被災精神科病院の支援を訓練する。 【地域支援】 避難所内の精神科病院通院治療中断者等に対し、必要な精神医療の提供を行う。	【DPAT活動拠点本部】 HeLP-SREAMに沿って本部の立ち上げを行う。 EMIS等を活用しながら支援ニーズの整理、把握を行い、資源（物資）の確保、搬送方法の検討を行う。 【病院支援】 被災病院においてDPATの活動を伝えた上で、被災状況のアセスメント等を行い、必要な支援を判断する。 被災病院から他の精神科病院への患者の移送を調整する。 被災病院の診療継続を支援する。 【地域支援】 避難所等で発生しうる事例への対応	鹿児島県DPAT 鹿児島県障害福祉課	・机10台 ・椅子20脚 ・ホワイトボード5台 【以下DPAT所有の持ち込み資機材】 ・ライティングシート ・マイコン ・プリンター ・衛星電話 ・ドラム式延長コード ・OAタップ ・その他DPAT資機材
航空機による孤立地区への隊員投入訓練	09:40～9:50	大雨と地震に伴い発生した崖崩れにより道路が寸断され、船舶地区の一部住民が孤立化し、連絡が取れない状況となっている。車両等での現地への進出は困難であるため、防災ヘリにより消防隊員2名を孤立地域へ投入し、情報収集活動を行う。	塙外離着陸場で投入隊員2名を搭乗させ離陸。その後、孤立地域（総合運動場）へ隊員2名を投入実施。	鹿児島県防災航空センター さつま消防本部	県消防防災ヘリコプター「さつま」
道路啓開区間の指定等訓練	10:30～10:50	道路啓開が必要な被災箇所について、災害対策基本法に基づく車両等の移動に関する手続き及び関係機関への情報伝達を行う。	（情報伝達訓練） 道路啓開ルート上における放置車両について、道路維持課と北薩地域振興局は、互いに調整の上、道路啓開区間の指定や指定区間の周知等、車両移動に係る手続きを実施する。	・鹿児島県道路維持課 ・鹿児島県北薩地域振興局建設部	
航空機による被害状況調査及び隊員投入	11:00～11:10	鹿児島県現地対策本部から、集中豪雨及び地震の影響により多数の被害が発生しているとの情報を受け、鹿児島県航空基地所属のヘリコプター（機動救難士同乗）により被害状況調査等を実施する。	鹿児島県航空基地所属のヘリコプター（機動救難士同乗）はさつま町上空へ進出し、上空からの被害状況と共に、情報収集のための宮之城運動公園周辺に、機動救難士を降下（投入）する。	第十管区海上保安本部 鹿児島県航空基地	海上保安庁ヘリコプター 機動救難士
被害状況調査	11:10～11:15	県警察交通機動隊は、先行情報班により、道路や建物等の被害情報収集を実施するとともにPⅢ映像伝送を実施。	自衛隊オートバイによる被害地域の被害状況調査を実施し、合同調整所へ情報共有を行う。	陸上自衛隊第12普通科連隊 鹿児島県警察本部	オフロードバイク 映像伝送装置（PⅢ）
ドローンによる被害状況調査	11:10～11:15		ドローンにより、町内被災箇所の調査を実施する。	鹿児島県ドローンネットワーク推進協議会（デュアルドローンハンドラーズ）	
道路被災調査	11:15～11:20	地震発生後、道路の被災状況や、緊急通行車両等の通行妨害となる放置車両等の状況について調査を実施し、必要に応じ、通行規制を行う。	国の情報収集車（Car-SAT）および県の道路パトロール車による連携した道路啓開調査を実施し、発見した被災箇所の通行規制を行うとともに、現地対策本部へ情報伝達し、道路啓開作業班の手配を要請する。 倒木・土砂や放置車両の箇所について、国の情報収集車（Car-SAT）及び県の道路パトロール車にて調査を実施する。 国の情報収集車（Car-SAT）は、衛星通信にて調査状況を現地対策本部へ映像配信する。	・九州地方整備局 防災室 ・九州地方整備局 鹿児島国道事務所 ・鹿児島県北薩地域振興局建設部	【国】 ・情報収集車（Car-SAT）1台 ・衛星通信車1台 【県】 ・道路パトロール車1台 ・通行止看板（仮対法） ・通行止看板（対法）
道路啓開訓練①	11:20～11:40	地震及び大雨の影響により倒木、土砂崩れが発生し、要救助地域への道路が閉塞されている。 現地対策本部は道路を塞いでいる倒木、土砂を除去するため、鹿児島県建設業協会に協力を要請した。 要請を受けた鹿児島県建設業協会宮之城支部は、重機は手配可能であるが、大規模災害対応のために重機オペレーターが不足しているとし、現地対策本部へ重機オペレーター支援を要請した。 現地対策本部は、既に被災地入りしている陸上自衛隊第8施設大隊に対し、重機オペレーターの派遣を要請した。 また、現地対策本部は、二次災害の恐れがある被災箇所については、オペレーターが安全な箇所から遠隔操作による道路啓開作業が必要であると判断し、九州地方整備局の簡易遠隔操縦装置の手配を要請した。	県建設業協会宮之城支部及び第8施設大隊のオペレーター（各1名）が、宮民共同で道路啓開作業を行う。 二次災害等の恐れがあると判断された範囲については、国土交通省九州地方整備局の支援により、簡易遠隔操縦装置（ロボQ S）をバックホウに取り付け、現地対策本部から協力要請を受けた陸上自衛隊第8施設大隊の隊員が、離れた場所から遠隔で重機を操縦して道路啓開を実施する。	・鹿児島県道路維持課 ・鹿児島県建設業協会 宮之城支部・さつま建友会 陸上自衛隊第8施設大隊 ・九州地方整備局 鹿児島国道事務所	【建設業協会】 ・バックホウ2台 【鹿児島国道事務所】 ・簡易遠隔操縦装置（ロボQ S）
道路啓開訓練②		地震により、事故を起こし横転した車両が放置され、道路啓開ルートを封鎖している。 現地対策本部は、日本自動車連盟鹿児島支部及びジャパンレッカー事業協力会に対し、放置車両の排除を要請した。	放置車両の排除要請を受けた日本自動車連盟鹿児島支部及びジャパンレッカー事業協力会は、レッカー車により放置車両を速やかに排除し、道路啓開ルート上の放置車両等を排除し、緊急通行車両の通行を確保する。	・（一社）日本自動車連盟鹿児島支部 ・（一社）ジャパンレッカー事業協力会	【JAF】 ・レッカー車2台 ・放置車両2台 【ジャパンレッカー事業協力会】 ・レッカー車2台 ・放置車両2台
合同救出・救護訓練	11:40～12:00	先行情報班の情報収集の結果に基づき、町災害対策本部内の現地合同調整所において、各機関で活動調整を実施のうえ、倒壊家屋、土砂埋没家屋及び土砂埋没車両からの救出活動を実施する。 さつま町は、陸上自衛隊、県警察、県DMAT、薩摩郡医師会、県警備業協会にそれぞれ災害派遣、協力を要請する。 さつま町消防本部は大規模災害と判断し、鹿児島県消防相互応援協定に基づき、鹿児島市消防局、薩摩川内市消防局、阿久根地区消防組合消防本部、出水市消防本部に出勤を要請する。 県警備業協会は、緊急交通路啓開後、警察、消防、自衛隊等の車両が仮設被災現場に出入する際、仮設緊急交通路において車両誘導及び一般車両の流入規制を実施する。	1 現地合同調整所における協議結果に基づき活動場所、活動隊を各機関の指揮者に下命する。 ① さつま町消防本部、さつま町消防団は、倒壊家屋から要救助者2名（生体又はダミー）の救出活動を行う。 ② 陸上自衛隊第12普通科連隊、鹿児島県警察本部は土砂埋没車両から要救助者2名（生体又はダミー）の救出活動を行う。 ③ 鹿児島市消防局、薩摩川内市消防局、阿久根地区消防組合消防本部、出水市消防本部、は、土砂埋没家屋から要救助者1名（ダミー）の救出活動を行う。 2 各被災場所（3想定）はさつま町内に点在している想定とし、救出された傷病者は活動隊でトリアージ後、各救急車（阿久根地区消防組合、陸上自衛隊、さつま町消防本部）により医療救護所（総合体育館サブアリーナ）へ搬送する。 3 県警備業協会は、緊急交通路啓開後、警察、消防、自衛隊等の緊急車両が仮設被災現場に出入する際、仮設緊急交通路において車両誘導及び一般車両の流入規制を実施する。	さつま町消防本部 さつま町消防団 陸上自衛隊第12普通科連隊 鹿児島県警察本部 鹿児島市消防局 薩摩川内市消防局 阿久根地区消防組合消防本部 出水市消防本部 一般社団法人鹿児島県警備業協会 鹿児島県建設業協会 宮之城支部・さつま建友会	救助工作車 消防団車両 救急車 自衛隊車両 警察車両 担架 簡易家屋2棟 傷車2台 土砂 災害用装備資器材 救助資機材 誘導機 警笛 トラメガ 誘導灯 無線機 等
電気応急復旧	12:00～12:05	土砂崩れによる樹木倒壊のため高圧線が断線し、救急病院を含む付近一帯が停電している。 道路封鎖車両及び土砂、倒木の除去が完了し、現地対策本部は、インフラの復旧を要請した。（被害状況確認） 救急病院での負傷者救護のための早期送電が必要である。（高圧新線復旧・高圧発電機車による応急送電）	1 改修必要箇所への道路閉塞が解消され移動を開始。 ※車両は事前に配置 2 現場被災状況の確認後、改修方法を決定。 3 作業者全員でのミーティングを行い応急送電と改修の工法・手順を確認。 【作業工法・実施手順】 ○短絡接地器具の高圧線への取付 ○高圧線断線復旧工事に着手 ○高圧断線復旧完了 ○高圧発電機車による救急病院への応急送電開始 4 高圧発電機車が到着次第送電可能となるよう、高所作業車により高圧線断線復旧ならびに送電ケーブル等準備を実施。 5 高圧発電機車にて応急送電を実施し、救急病院を含む周辺の停電を解消。	九州電力送配電株式会社 九電送配サービス株式会社	高所作業車 1台 高圧発電機車 1台 配電工事車 1台

訓練項目別スケジュール

[illegible]

訓練項目別スケジュール

			実施場所	実施時間																		
				8:00	8:15	8:30	8:45	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00	10:15	10:30	10:45	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00	12:15	
防災意識啓発訓練	防災パネル・資機材展示	九州電力株式会社	宮之城運動公園																			
	防災パネル・資機材展示	九州電力送配電株式会社	宮之城運動公園																			
	救援物資及び災害時の活動状況パネル展示	日本赤十字社鹿児島支部	宮之城運動公園																			
	防災展示・啓発活動	九州地方整備局	宮之城総合体育館駐車場																			
	鹿児島大学ポスター発表及び啓発活動	鹿児島大学	宮之城運動公園																			
	ドローン展示・啓発活動	日本ドローンレスキュー災害支援協会	宮之城運動公園																			
	非常通信訓練	鹿児島県赤十字アマチュア無線奉仕団等	宮之城運動公園																			
	災害時通信手段展示	ドコモCS九州等	宮之城総合体育館駐車場																			
	災害時通信手段展示	KDDI株式会社	宮之城総合体育館駐車場																			
	災害時通信手段展示	ソフトバンク株式会社	宮之城総合体育館駐車場																			
	災害時通信手段展示	楽天モバイル株式会社	宮之城総合体育館駐車場																			
	災害時通信手段展示	NTT西日本鹿児島支店等	宮之城総合体育館駐車場																			
	災害時通信手段展示	九州総合通信局等	宮之城運動公園																			
	防災展示・啓発活動	三井住友海上	宮之城運動公園																			
河川災害対応訓練	地域医療連携情報ネットワーク(かごネット)登録普及	薩摩郡医師会等	宮之城総合体育館駐車場																			
	救援物資展示	鹿児島県消防協会	宮之城運動公園																			
	降雨体験機展示	九州地方整備局 大隅河川国道事務所	宮之城総合体育館駐車場																			
	航空機による被害状況調査	鹿児島県警察本部	川内川河川敷																			
	ドローンによる被害状況調査	第十管区海上保安本部	川内川河川敷																			
	航空機による孤立者救助	鹿児島県防災航空センター等	川内川河川敷																			
	救助ボートによる孤立者救出訓練	陸上自衛隊第8施設大隊	川内川河川敷																			
	内水排水訓練	さつま町	川内川河川敷																			
	内水排水訓練	川内川河川事務所	川内川河川敷																			
	河川被災調査	川内川河川事務所	川内川河川敷																			
	ドローンを活用した光ファイバーケーブルの復旧訓練	NTT西日本鹿児島支店	川内川河川敷																			
	住民による初期消火訓練	さつま町消防本部等	川内川河川敷																			
	大規模火災消火訓練	さつま町消防本部等	川内川河川敷																			
	医療救護所設置・運営訓練	さつま町等	宮之城総合体育館																			
合同災害対応訓練	DMATによる病院支援訓練	鹿児島県DMAT等	宮之城総合体育館																			
	DPAT活動拠点設置・運営	鹿児島県DPAT等	宮之城総合体育館																			
	航空機による孤立地区への隊員投入訓練	鹿児島県防災航空センター等	宮之城総合体育館周辺																			
	道路啓開区間の指定等訓練	鹿児島県道路維持課等	宮之城運動公園																			
	航空機による被害状況調査及び隊員投入	第十管区海上保安本部等	宮之城総合体育館周辺																			
	被害状況調査	陸上自衛隊第12普通科連隊等	宮之城運動公園																			
	ドローンによる被害状況調査	鹿児島県ドローンネットワーク推進協議会	宮之城運動公園																			
	道路被災調査	九州地方整備局等	宮之城運動公園																			
	道路啓開訓練①	鹿児島県道路維持課等	宮之城運動公園																			
	道路啓開訓練②	日本自動車連盟鹿児島支部等	宮之城運動公園																			
	合同救出・救護訓練	さつま町消防本部等	宮之城運動公園																			
	電気応急復旧	九州電力送配電等	宮之城運動公園																			
	閉会式																					